

単位数	2	学年	3
必修・選択	選択		
担当者			
教科書			

1. ねらい・目標

球技の特性について専門的な理解と高度な技能の習得を目指した主体的、合理的、計画的な運動の実践を通して、自己の課題の解決とこれらのスポーツの審判法を習得できるようにすることや、技能を發揮してゲームをすることができるようにするとともに、生涯を通してスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。

2. 授業の進め方や学習方法

男子各36名ずつに分かれ、球技各種目を行う。基本的な技術から専門的な技術までより深く学ぶ。また、ゲームの立案・計画から運営までを行い、主体的に運動の実践ができるようにする。さらに、技術の上達のため、自己の課題を発見し解決できるようにする。

3. 副教材・参考書

1. 副教材 アクティブスポーツ
2. 参考書

4. 評価

授業態度や関心・意欲、思考・判断、知識・理解、運動技能を総合的に評価する。

5. その他(履修上の留意点等)

- ① 学習に主体的に取り組み、マナーやフェアプレイを大切にすることや互いの技術向上に向けて助け合い、役割分担を行い、自己の責任を果たすことができるようにする。
- ② 自己や仲間の意見を調整し、合意形成に貢献しようとする。
- ③ 体調や気候の変動に応じて運動量を調節したり危険を予見して回避するなど、健康・安全を確保して事故防止策が取れるようにする。

6. 授業計画（進度表）

期	月	週	種目名	学 習 の 内 容	留 意 点
1 学期	4			<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション 1) 授業の心得 2) 学習の進め方 3) 評価について 	授業の取り組み方について理解させる
	5				
	6			<ul style="list-style-type: none"> ・個人的技術やチームプレイ 1) 各種目のオフェンスの技術 2) 各種目のディフェンスの技術 	基本的、専門的な技術の習得を目指す
2 学期	7				
	9		バスケットボール バレーボール ハンドボール	<ul style="list-style-type: none"> ・作戦の立て方 1) 攻撃（オフェンス）方法 2) 守備（ディフェンス）方法 	作戦を立てる際、互いの意見の合意形成に貢献できるようにする
	10		バドミントン サッカー		
	11		ソフトボール テニス 卓球		
3 学期	12		ディスクゴルフ ボーリング グラウンド・ゴルフ	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲーム 1) トーナメント戦 2) リーグ戦 3) 総当たり戦 	ゲームの計画を主体的にできるようにする
	1				
	2			<ul style="list-style-type: none"> ・運営の仕方 1) 球技大会等の立案・計画 2) 役割分担 3) 組み合わせ 4) ルールの設定 5) 審判法 	互いに協力し、運営できる用意する
	3				